



音楽療法士

音楽のもつ力を活かして、心身の療養や機能回復を図る

しごとの内容

音楽を通じて心身に障害のある人に働きかけ、言語や薄れかけた記憶、人間的な感情などを取り戻させ、その回復を図ります。このため、MT (Musical Therapist) とも呼ばれます。

具体的には、単に歌を歌ったり、音楽を聴かせたりするのではなく、音楽療法士が個々の利用者のニーズに合わせて音楽を提供し、その効果を分析しながら実施します。

主な職場

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、通所リハビリテーションセンター、障害者福祉施設、精神科病院、作業所、ホスピス病棟、保育所

将来性

今のところ、民間資格にとどまっているため、日本音楽療法学会が国家資格化のための運動を展開しているほか、各方面からもその専門性が高く評価されています。このため、求人はこれから徐々に増えていくものと思われます。

合格者数

日本音楽療法学会 (2007年度末現在)	約1,300人
全国音楽療法士養成協議会 (2012年度末現在)	1種: 838人 2種: 2,340人



勤務形態

通常、日勤です。

給与水準

資格そのものとしては一般にまだ十分知られていないため、この資格だけで就職することは難しい状況です。

資格取得のルート

音楽療法士の認定は、日本音楽療法学会と全国音楽療法士養成協議会の2つの団体が行っています。

日本音楽療法学会の認定資格を得るには、まず学会の認定校に入学し、音楽療法について体系的に学び、必要なカリキュラムを修了して学会認定音楽療法士（補）受験資格を得ることが必要です。

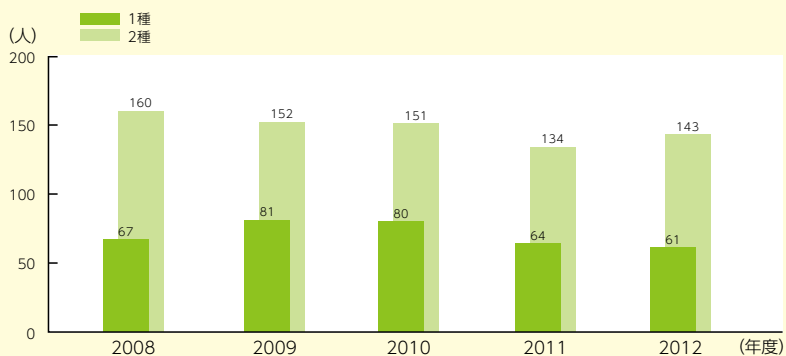
具体的には、（補）資格審査（筆記試験）に合格して（補）資格取得後、学会認定音楽療法士資格審査（面接試験）に合格すると資格が得られます。

また、指定校での履修が困難な人は、学会が主催する（補）資格試験受験のための必修講習会を受講し、（補）資格試験の受験資格を得る方法もあります。この場合、①日本音楽療法学会の正会員である、②大学、短大、高等専門学校、専門学校（2年以上）を卒業している、③臨床経験が5年以上あることが要件になります。

このほか、全国音楽療法士養成協議会には、音楽療法士養成課程をもつ全国の大学と短大が加盟しており、指定カリキュラムの履修により音楽療法士（1種、2種）の資格を得ることができます。

合格者状況

<全国音楽療法士養成協議会音楽療法士称号認定者数>



資格取得のポイント

最も短期間で資格を取得する場合、音楽療法コースを設けている音楽系大学などに進学し、音楽療法士試験の合格をめざすことになります。

関連団体・組織

日本音楽療法学会

<http://www.jmta.jp/index.html>

全国音楽療法士養成協議会

<http://jecmt.jp/>